もっと地球ギャラリー

日本で発見!

先祖を祀る“聖なる楽器”

撮影協力●海老名市文化会館　写真・文●大谷徹（編集部）

ンビラの演奏に欠かせないのが「オショ」と呼ばれるマラカス。ンビラ音楽にリズムを与え、ダンスで場を盛り上げる

ンビラは木製の板に金属製の鍵盤と「ジリジリ」という音を出す擦音具がついただけのシンプルな楽器。外の囲いは「デゼ」と呼ばれ、アンプの役割を果たす

「パチシガレ・ムビラズ」は東京・吉祥寺のアフリカンバー・レストラン「アフリカ大陸」で定期ライブを開催している
URL: http://www.mbira.jeez.jp/

ところ変われば音楽との関わり方も違ったものになる。近代的な音楽では、演奏する人と聴く人がはっきりと分かれがちだ。しかし「ンビラ」が演奏される時、聴衆は踊り、手を叩き、足を踏み鳴らす。演奏者と聴衆は一体になり、全員参加で非日常的な場の雰囲気を作り上げていく。オーディオでンビラを聴くことと実際の演奏に立ち会うことは、大きく異なる経験だ。

ンビラはジンバブエのショナ族の祖霊信仰とともにある。彼らはもめごとや自然の災害など、人間の力では解決できない問題が起こると、儀式を開いて先祖の霊に助けを乞うのだという。みんなで歌い、踊り、ンビラを演奏することで霊媒師に霊が取り憑き、助言を授けてくれたり、超自然的な力で問題を解決してくれたりすると信じられている。

「パチシガレ・ムビラズ」は、そのンビラの伝統を受け継ぎ、ライブ活動やワークショップを通じてショナ族の精神性やンビラの楽しさを伝えているバンドだ。単独でも水琴窟（すいきんくつ）のような美しい音色のするンビラだが、コンビネーション巧みな合奏は格別。倍音が心地よく共鳴し合い、異空間にワープしたような不思議な気分になる。ンビラの演奏はぜひライブで聴いて、そして参加してみてほしい。

パシチガレ・ムビラズのメンバーによるンビラ教室

鎌倉教室（ゲストハウス亀時間）
神奈川県鎌倉市材木座3-17-21
日時:毎月2回　第1、第3土曜日10:30〜12:00
参加費:1回1500円+1ドリンクオーダー
TEL:0467-25-1166

PARC自由学校教室
東京都千代田区神田淡路町1-7-11東洋ビル
日時:毎月第3金曜日19:00〜21:00（日程の変更あり）
参加費:1回2500円

＊ンビラレンタル1回500円
http://mbirazvakanaka.com/